

開館 8 周年記念特別展

# 鎌倉・円覚寺黄梅院の掲示板の詩

～横田南嶺老師と坂村真民の心の交流～

2020年 2月22日(土) ▶ 6月14日(日)

開館時間 9:00—17:00 (入場は16:30まで) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日、5月7日)



- 主催 砥部町、砥部町教育委員会、愛媛新聞社、南海放送
- 後援 愛媛県、愛媛県教育委員会、NHK松山拠点放送局、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛
- 特別協力 臨濟宗大本山円覚寺

坂村真民 記念館 〒791-2132愛媛県伊予郡砥部町大南705 TEL.089-969-3643  
<http://www.shinmin-museum.jp/>

次回企画展のお知らせ  
「坂村真民のまなざし  
～坂村真民が見つめていたもの～」  
2020年6月20日(土)～10月4日(日)予定  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)



# 横田南嶺老師

深さ

海の深さは

測ることが

できるが

愛の深さは

測ることは

できない

坂村真民全集第七巻より

本気

本気がどうと

世界が変わると

自分も変わると

変わるといふから

また本気がどうと

証は

本気な仕事

ああ

人間一度

つがまんことば

鶴巻一月氏

涼しさ

仏教は

涼しい風である

涼しい人

それが仏身である

しんみんよ

涼しい人になれ

坂村真民全集第七巻より

祈り

光を光を

つねに光を

愛と愛と

つねに愛を

南嶺馬

わたしの詩

わたしの詩は

生きろために書し

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き

生きろために泣き



# 坂村真民

鎌倉にある臨済宗円覚寺派本山円覚寺は、鎌倉五山第二位の格式を誇り、日本の臨済禅に大きな影響を与えた無学祖元禅師の開山した寺です。管長をされている横田南嶺老師は、高校生の時に坂村真民の詩に出会いファンとなり、大学卒業後出家修行僧としての長い時代を経て、円覚寺黄梅院の住職に就かれ、その入り口にある掲示板に毎月真民詩を揮毫し掲示されてきました。その後管長に就任された後も真民詩の掲示は続き今年2月で通算251回となり、円覚寺のホームページにもアップされて、多くの人々に読まれています。

今回の特別展では、その掲示板の詩から14点を寄贈していただき、記念館で展示することになりました。それぞれの月に合わせて横田管長自ら選ばれた詩は、「禅の教えを分かりやすく詠んだ詩」や「人間としての生き方を詠った詩」が多く、これまで記念館で紹介したことのない詩がほとんどです。さらに、横田管長が大判色紙に書かれた真民詩8点も併せて展示して、横田管長の真民詩に対する想いと横田管長の生き方をご紹介しますとともに、真民の生き方とその詩に大きな影響を与えた「禅」について、真民はどのように考えていたのかを「思索ノート」中の言葉と真民詩の中から繙いていきたいと考えています。

坂村真民は、42歳の時に臨済宗の大乗寺で参禅を決意して、約5年間修行僧と同じような生活を自分に課して生きました。

そして、その後もこの修行僧の生き方を、生涯亡くなるまで守り通して生き抜きました。そこから生まれた詩は、「仏の教え」を真民流に書き直したものであり、人間として如何に生きるかを分かり易く書き表した詩となっており、それらを真民が書として書き、掛け軸にしたものを展示するとともに、真民が吉田の大乗寺で参禅をしていた頃の、貴重な「経本」等も併せて展示しております。

今回の展示では、第2展示室の作品の配置を変え、長いすを増やすなど、皆様寛いで、落ち着いた「安らげる場」となるよう工夫しておりますので、どうぞ皆様お問い合わせでご来館ください。



**坂村 真民** (さくら しんみん)  
詩人。1909年(明治42)年熊本県生まれ。戦後、愛媛県高校の教師をしながら、詩を書き続ける。「念ずれば花ひらく」、「二度とない人生だから」など、人々に生きる勇氣と希望を与える詩を多数残している。2006(平成18)年97歳で永眠。



**横田南嶺老師** (よこたなんりゅう)  
臨済宗円覚寺派管長  
1964年 和歌山県新宮市に生まれる  
高校生の頃より筑波大学卒業まで真民と手紙のやり取りをし「詩国」を読む  
1987年 筑波大学卒、在学中に小池心叟老師に就いて得度  
1991年 円覚寺僧堂で修行 1999年 円覚寺僧堂師家  
2010年 臨済宗円覚寺派管長に就任  
著書に「禅の名僧に学ぶ生き方の智慧」「人生を照らす禅の言葉」とともに致知出版社「祈りの延命十句観音経」(春秋社)などがある。

関連イベント

**【記念講演会】**  
臨済宗円覚寺派管長 横田南嶺老師  
「ふかきをきわめ、あさきにあそぶ  
—今学ぶ真民詩の世界—」  
■ 日 時: 2月22日(土) 10:30~11:30  
■ 会 場: 砥部町商工会館(当記念館隣)  
■ 入場料: 無 料(先着250名) ※特別展半券をご提示ください。

**【ミニ講演会】**  
坂村真民記念館 西澤館長  
「円覚寺黄梅院の掲示板の詩」  
■ 日 時: 2月23日(日) 11:00~12:00  
■ 会 場: 記念館会議室  
■ 入場料: 無 料(先着50名)

観覧料

観覧料	前売券	当日券
一般	500円	600円
高齢者(65歳以上)	400円	500円
高校生・大学生	400円	500円
小中学生	300円	400円

※15名以上の団体は団体割引いたします。障害者手帳等をお持ちの方は当日料金の半額で入場できます。障がい者手帳等をご提示ください。※なお上記の料金で常設展もご覧いただけます。

【入場券販売所】坂村真民記念館、愛媛新聞旅行、愛媛新聞社の県内支社(東予支社四国中央を除く)・エリアサービス・四国中央テレビ(取り寄せ)、愛媛県美術館新館ミュージアムショップ、いよつ高島屋、フジグラン松山、県内明屋書店(一部店舗を除く)、コープえひめ生活文化サービス、ローソンチケット(Lコード62846)、チケットぴあ(セブン・イレブン(Pコード685-105))



## 坂村真民記念館

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南705 TEL.089-969-3643  
<http://www.shinmin-museum.jp/>

- 普通車約100台、大型バス駐車可
- 交通案内  
【お車の場合】◎松山自動車道 松山ICから国道33号利用  
◎所要時間: 10~15分  
【松山市駅からの場合】  
◎伊予鉄道路路線バス(砥部線(大街道経由))「断層口」または「大岩橋」行き「砥部焼伝産業会館前」下車  
◎所要時間: 約50分

